



すびっこ
美術館

サンフラワーこどもの森保育園
しばぬま じょう くん
柴沼 穰くん



お店屋さんごっこ

保育園でお店屋さんごっこをしているところを描いてくれたのは穰くん(5歳)。穰くんは、おすし屋さんのおすしを作ったのだそうで、「たまごとマグロのおすしが大好きなんだ! あとイクラも!」と元気に話してくれました。

ぼくの夢
わたしの夢



夢は…。 “獣医”

中丸小学校6年 ●相澤萌夏

私の夢は、獣医になって人と動物が楽しく元気に、そして長く生きられるようにすることです。

私は今、犬やウサギなどを飼っていて、毎日、掃除等の世話をしています。餌やりや掃除は大変ですが、私が落ち込んでいるときに犬がそっとそばに来て、なぐさめるように手をなめてくれたことがあり、動物の普段見せない優しさを知りました。そして、“私たち飼い主のことを思って生きている動物のためになる仕事は何だろう”と考えたときに、思い浮かんだのが獣医でした。

獣医になるためには、たくさん勉強をしなければいけないので、自主学習を頑張ることはもちろん、ノートも後で振り返りやすいように工夫するなど、小さなことにも気を付けるように心掛けています。

わが家の子育てノート

井坂 亜紀

わが家は、陽菜子(2歳1か月)と私たち夫婦の3人家族です。結婚6年目で生まれてきてくれた陽菜子。妊娠初期に切迫流産で入院したり、臨月には心拍が弱ったりして不安でいっぱいでしたが、3500グラムの大きな体で元気に生まれてきてくれました。初めての育児は戸惑うことばかり。特に離乳食はほとんど食べてくれず、悩みました。でも、「いつかは食べるようになる」と思い、離乳食本に頼るのをやめると、気持ちに余裕が持てるようになりました。すると、不思議と娘がパクパクと食べるようになったのです。まるで娘が「ママ、焦ってもいいことないよ。ゆっくりいこうよ」と言ってくれているようでした。広い心でゆったりと育児をすることの大切さを教えてもらった出来事でした。

村内にはいろいろな子育て支援サークルがあり、私も友人と参加しました。そこでは、懐かしい再会や新たなママ友達との出会いがありました。今でも、長堀すこやかハウスや児童センターで遊びながら情報交換をすることができ、とても心強いです。私たち夫婦は、実家が村内にあるので、近くにおじいちゃん・おばあちゃん

んがいてくれて本当に助かってます。いつも陽菜子のためにおいしい料理を作って待っていてくれる義理の両親。私の子育ての悩みにいつも耳を傾け、励ましてくれる実家の両親。そんな家族に支えられてとても幸せです。毎日仕事で忙しい主人は、帰りが早いときは娘と一緒に風呂に入ったり、家事を積極的に手伝ったりしてくれ、精神面でも私のサポートをしてくれていて、笑顔で子育てできるのも主人のおかげだと感謝しています。

陽菜子はよく食べ、よく寝、よく笑う子です。つい同じ月齢の子と比べてしまい、できないことに目がいってしまうこともあります。が、「頑張ったこと」「できるようになったこと」「この子にしかない良いところ」をたくさん見つけてあげようと思います。陽菜子が私たち夫婦を選んで生まれてきてくれたことに感謝し、わが子の可能性を誰よりも信じてあげながら、これから

の成長を見守っていきたいと思います。

